

スポーツ・レクリエーション

福島市総合教育会議（10/14）配付資料

1. 目指す姿

子どもから高齢者まで、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しみ、心身ともにいきいきと、こころ豊かで、健康的な生活を送っています。

2. 基本方針

- (1) 地域に根ざした生涯スポーツの推進のため、スポーツ・レクリエーションの活動の普及・促進に努めます。
- (2) 各種競技団体、地区団体との連携を図るとともに、指導者の養成・活用を行い、競技力の向上に努めます。
- (3) スポーツ施設の整備、充実と効率的活用の促進に努めます。

3. 各種施策の実施状況及び成果、課題（現 教育振興基本計画の検証作業）

「スポーツ・レクリエーション」については、子どもから高齢者まで、日常的にスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、「生涯スポーツの推進」、「競技力の向上」及び「スポーツ施設の整備充実と効率的活用の促進」等の各種事業に取り組んでおります。

成果としましては、年齢や性別を問わず気軽に参加できる市民体育祭の開催や体育施設の改修や整備に取り組み、生涯スポーツの推進を図ったほか、各種競技団体と連携し講習会の開催や指導者の派遣などを実施し、指導者育成を行い、競技力の向上を推進した。

課題としましては、多様化する市民ニーズに対応しながら、幅広い世代が気軽に親しめるスポーツ・レクリエーションの普及・促進、環境整備を図る必要がある。また、各種競技・各年代ごとに合わせた専門的な知識と指導力を持つ指導者の育成を図る必要がある。

4. 基本方針を推進・実現するための主な重点事業

(1) 指導者講習会事業

各種競技・各年代ごとに合わせた競技技術やトレーニング方法の指導、スポーツ医学を活用した指導など、専門的な知識と指導力を持つ指導者を育成し、優れた指導者の確保と活用に努め、競技スポーツの振興と競技力の向上を目指す。

(2) 体育施設整備事業

利用者にとって引き続き安全で使いやすい施設となるよう、老朽化が進み、機能更新が必要な体育施設については改修を行い、また、多様化する市民ニーズに対応するよう、新たな体育施設の整備を進めていく。

5. 主な指標

指標名	現状値 (H26)	目標値 (H32)	説明
市民体育祭参加者数	12,205人	13,000人	市民体育祭の参加者数により、生涯スポーツと競技スポーツの振興の状況をはかる指標です。 ニーズに対応した種目を導入することにより、年間1.5%の増加を目指します。
体育施設利用者数 (学校体育施設を含む。)	2,325,607人	2,900,000人	体育施設の利用者数により、生涯スポーツと競技スポーツの振興の状況をはかる指標です。 市民一人が、年間10回(月1回程度)利用することにより、2,900,000人の利用を目指します。